
僕と戦争と学校と

クベル

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

僕と戦争と学校と

【著者名】

クベル

N7331F

【あらすじ】

2つの国が戦争し、さらにその戦争の影響により獣達が凶暴化した。なぜ戦争が終わらないのか…。戦争が終わらないなら、僕が、僕達が終わらせる。あ、遅刻する！

第一話 戦乱（前書き）

多少、グロテスクな表現が入ります。苦手な人は注意してください

第一話 戰亂

僕は目の前で見てしまつた

「あ、ああ…」

自分の親が、目の前で…

殺される場面を

「あ、ちにもまた居たぞ！」

兵士が三人で僕を囲む。血かくしていれる剣を僕に向けて……。

「お前等金圓 跳縄じはじめ!!」

僕は生まれて初めて怒りを知った。自分の怒りを、この16年的人生の中、最大の怒りを。

「やつらが死んで」

兵士達が一気に襲い掛かる。だが、今の僕には関係がない。僕の全身が、相手を殺すために変化しているのが自分でもわかつた。

理性を失つたんだ

「死ね！」

僕は斬りかかる兵士の脇辺りを抜け、僕は親が手に握られている太刀（長さが60センチ以上の長めの刀）を抜き取り構える。

「死ぬのはお前等だ！」

再び襲い掛かる刃を、僕は太刀で弾き返して隙を開ける。そして、
僕は相手の鎧と兜の隙間に刀を突き刺す。

「グヘエ」

相手は血を吐き倒れる。それがさらに引き金へと変わる。

僕は相手を殺す事しか頭に入らなくなつた。その時である。

「落ち着け、ライフ！」

僕を呼ぶ声が聞こえ、一瞬我に帰る。田の前に、僕の名を呼んだ本人が居る。だけど、敵兵でも肉親でも無い。友達でも無ければ、親戚でも無い。1人の男である。

「逃げるやー今のもじや、全員死ぬぞ」

その声は、優しく僕に投げ掛ける。だが、僕は再び理性を失う。

「殺す殺す、全員殺す！」

「ライフ！」

その時、敵兵が男に斬りかかる。

「邪魔をするな！」

男はベルトに着けた革製の入れ物からナイフを素早く取りだし、敵の首に突き刺す。敵兵は声も出さずにその場に倒れる。

「くそ、仕方ない！－悪く思つな」

取り乱す僕の腹に正拳が入る。僕は何も言えぬまま、気を失つてしまつた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7331f/>

僕と戦争と学校と

2010年10月28日08時12分発行